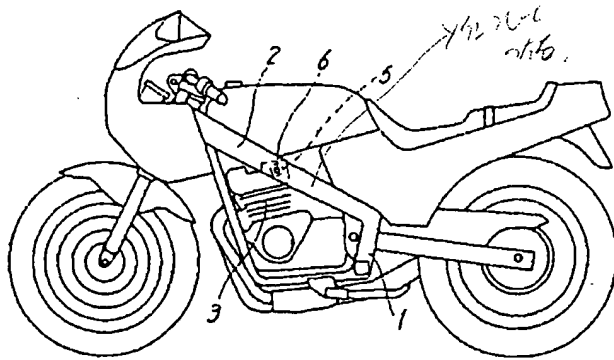
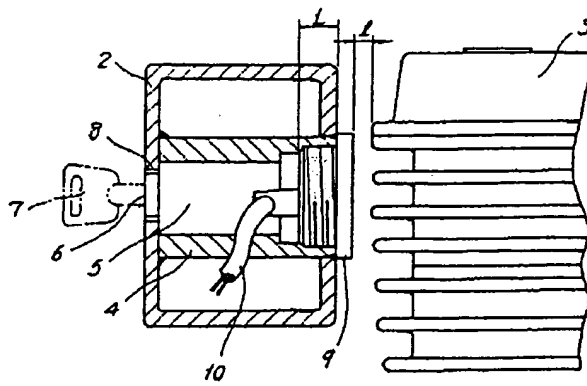


【第2図】



【第3図】



3

れることがあって不都合である。

この考案は、かかる点に鑑み、盗難防止スイッチをフレーム内に設けたガイド筒内に外せないように取付けると共にリード線をフレーム内を通して配線し、破壊される心配がないオートバイの盗難防止スイッチ取付け装置を得ることを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するために、この考案のオートバイの盗難防止スイッチ取付け装置は、フレームの左右の上フレームの片側の内側にエンジンが近接する個所に、内側からガイド筒を挿入して取付け、このガイド筒にスイッチを挿入してスイッチのキー孔部分を上フレーム外側に設けた貫孔に覗かせ、ガイド筒入口にナットを螺合してスイッチを固定し、スイッチのリード線を上フレーム内を通して配線するようにしたことにある。

〔作用〕

スイッチは、フレームの上フレーム内に取付けられていて、手を掛けることができない。又、スイッチを挿入したガイド筒の入口ナットは、内側にエンジンが近接して搭載されているので、エンジンを降さなければ外せない。そして、スイッチのリード線は上フレーム内を通して配線してあるので、手を加えることができない。こうして、スイッチが破壊されたり、リード線が切断されて、作動不能になることを防止できる。

〔実施例〕

以下、本考案の実施例を第1図乃至第3図によって説明する。

オートバイのフレーム1の左右の上フレーム2の片側で、内側にエンジン3が近接して搭載される部分に、内側からガイド筒4を挿入して溶着する。そして、ガイド

4

筒4内に、盗難防止のスイッチ5を挿入する。スイッチ5は、先端のキー孔6にキー7を差込んで操作するようになっており、上フレーム2の外側に設けた貫孔8にキー孔6を覗かせてある。スイッチ5は、ガイド筒4の入口にナット9を螺合して固定する。ナット9は、エンジン3との隙間1がナット9のネジ長さより小さく、エンジン3を外さなければ外れない。スイッチ5のリード線10は、上フレーム2内を通して配線する。

スイッチ5は、上フレーム2内にあって外せないだけでなく触ることもできないので破壊される心配がない。

又、リード線10も上フレーム2内にあって触ることができないので切断されることもない。そして、スイッチ5は、キー孔6だけが上フレーム2の貫孔8から覗いていて目立つことも少ない。

〔考案の効果〕

以上説明したように、この考案は、上述のように構成したので、盗難防止のスイッチを外したり触ったりできず、破壊されることがない。又、リード線も上フレーム内を通して配線され目立つことがなく切断されることもない。こうして、破壊行為を防止できる。又、スイッチはキー孔だけ覗いていて目立つことも少ない。

〔図面の簡単な説明〕

第1図乃至第3図は本考案の一実施例を示し、

第1図は斜視図、

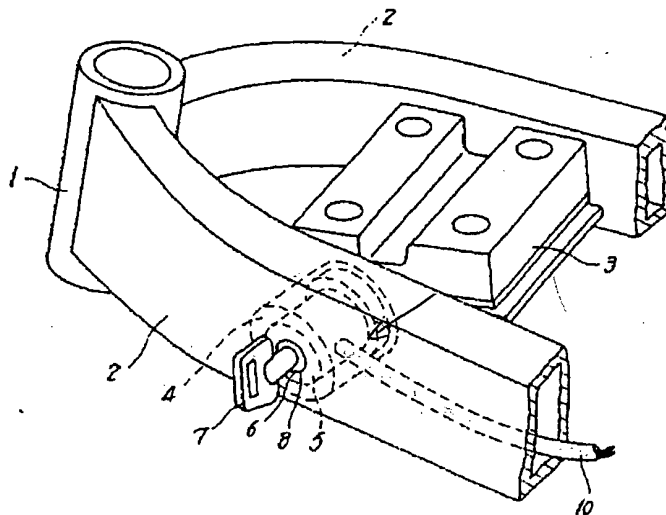
第2図は全体側面図、

第3図は横断面図、

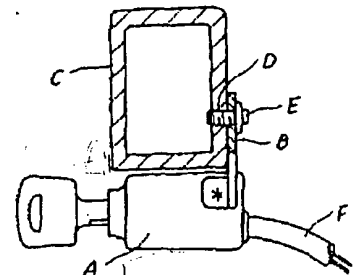
第4図は従来例を示す横断面図である。

1……フレーム、2……上フレーム、3……エンジン、4……ガイド筒、5……スイッチ、6……キー孔、8……貫孔、9……ナット、10……リード線。

【第1図】



【第4図】



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 実用新案公報(Y2)

(11)実用新案出願公告番号

実公平6-38785

(24) (44)公告日 平成6年(1994)10月12日

(51)Int.Cl.⁵

B 6 2 H ○ 5/00

B 6 2 K 19/30

識別記号

Z 7626-3D

7331-3D

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

登録

請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平1-21438

(22)出願日 平成1年(1989)2月28日

(65)公開番号 実開平2-113587

(43)公開日 平成2年(1990)9月11日

(71)出願人 999999999

スズキ株式会社

静岡県浜松市高塚町300番地

(72)考案者 山下 哲雄

静岡県浜松市竜禅寺町237

(74)代理人 弁理士 藤本 博光 (外2名)

審査官 常盤 務

(54)【考案の名称】 オートバイの盗難防止スイッチ取付け装置

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 フレームの左右の上フレームの片側の内側にエンジンが近接する個所に、内側からガイド筒を挿入して取付け、このガイド筒にスイッチを挿入してスイッチのキー孔部分を上フレーム外側に設けた貫孔に覗かせ、ガイド筒入口にナットを螺合してスイッチを固定し、スイッチのリード線を上フレーム内を通して配線するようにしたことを特徴とするオートバイの盗難防止スイッチ取付け装置。

【考案の詳細な説明】

産業上の利用分野

この考案は、オートバイの盗難防止スイッチ取付け装置の改良に関する。

〔従来の技術〕

オートバイでは、運転者以外のものがオートバイを動か

したときに警報装置が作動して、ブザーを吹鳴し続けて盗難信号を発し、盗難を防止できる装置を取付けることがある。その場合、盗難防止スイッチを設けて、運転者がオートバイから離れる場合に作動するようにし、運転者自身が使用するときには作動を切って盗難信号を発しないようにしている。通常、盗難防止スイッチは、第4図に示すように、盗難防止スイッチAのブラケットBを、フレームCに設けたネジ孔Dに、シエアボルトEなど、取外しができなくなるもので締着している。そしてリード線Fでブザーなどに配線している。

〔考案が解決しようとする課題〕

盗難防止スイッチAは、露出して設けられているので、シエアボルトEなどで外せないように取付けてあっても、盗難防止スイッチA自体がもぎ取られたり、破壊されたり、リード線Fが切断されたりして、作動不能にさ

[Claim 1] An antitheft switch attachment apparatus for a motorcycle, characterized in that a guide tube is inserted from the inner side into and attached to a location of an inner side of one of a pair of left and right upper frames of a frame adjacent to which an engine is positioned, that a switch is inserted into said guide tube until a key hole portion of said switch is exposed to a through-hole provided on the outer side of the upper frame, that a nut is screwed at an entrance of said guide tube to secure said switch, and that a lead wire of said switch is wired through the upper frame.